

経営健全化方針に基づく取組状況（令和4年度）

○法人名 エフエム伊東株式会社

○経営健全化方針を策定した理由

- ・平成29年度決算において、債務超過額が11,153千円発生したため、策定したもの。

○財政的リスクの状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
債務超過額（千円）	11,153	9,365	7,462	5,989
	令和3年度			
債務超過額（千円）	4,531			
	目標達成年度 （令和6年度）			
債務超過額（千円）	0			

○主な取組状況（令和4年3月31日現在）

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響等により、企業クライアントのレギュラーCMの中止及び減額となったことから、売上高が大幅に減額したが、経費の削減により、営業利益は前年度より531千円の増額となった。
- ・営業への取り組みを強化し、新番組の配信や既存の番組が配信増となったことにより、番組配信による収入について対前年度比318千円の増収となった。
- ・業務の効率化、就業時間の短縮を図り、人件費の削減に努めたことにより、人件費について前年比885千円削減となった。
- ・聴取者の少ない地域でお祭りの生中継を行い、地域コミュニティ活動の振興に大きく寄与するとともに、エフエム伊東の認知度を効果的に高めることができた。
- ・全国コミュニティエフエムアプリ Radimo による放送を開始した。開始2か月で3,000回以上ダウンロードされ、観光客を含めた幅広い客層の聴取に繋がったことから、エフエム伊東の広告価値の向上が期待される。

【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】

- ・3か月に1回活動報告に基づき事業の進捗状況について確認するとともに、10か年の事業計画における令和3年度数値目標の達成状況を確認した。

○法人の財務状況

(貸借対照表から)

(単位：千円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
資産総額	7,985	8,162	8,453	7,613	7,101
(うち現預金)	1,377	1,976	3,445	3,211	3,967
(うち売上債権)	3,244	4,333	3,444	3,065	2,342
(うち棚卸資産)	0	0	0	0	0
負債総額	19,138	17,527	15,915	13,602	11,632
(うち伊東市からの借入金)	16,635	14,936	13,229	11,513	9,788
純資産額	△11,153	△9,365	△7,462	△5,989	△4,531

(損益計算書から)

(単位：千円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常収益	16,928	19,445	19,946	17,609	16,916
経常費用	17,112	16,713	17,279	15,531	14,306
経常損益	△184	2,732	2,667	2,078	2,610
経常外損益	0	0	0	0	0
当期純損益	△367	1,788	1,903	1,473	1,458

以上